

医師不足の原因は、政府がとってきた医療費抑制政策にあります。

「医者が増えると、医療費が増える」という考え方から、医師養成数を削減してきました。その結果、医療施設で働く医師不足が深刻化しました。

このままでは地域の医療が崩壊し、国民・患者の命と健康が脅かされます。

医師・看護師を増やしてください。

安全でゆきとどいた看護がしたい



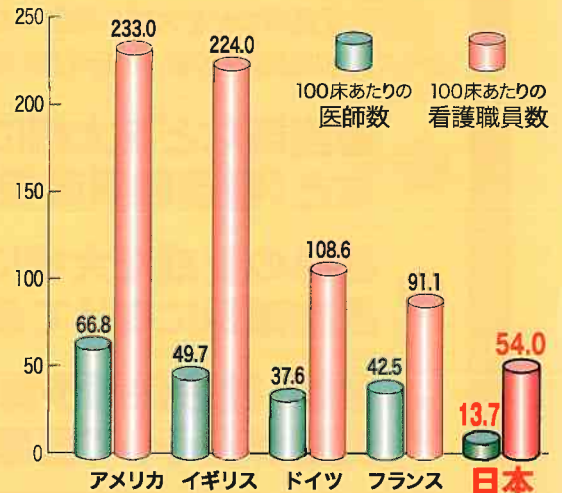
一人の看護師が昼は10人、夜は20人もの患者さんをみています。目の回るような忙しさで、毎年1割以上が退職しています。

ゆとりをもって患者さんを診たい



医師不足で、病院や診療科の閉鎖が相次いでいます。又過酷な超長時間労働で、医師の健康破壊も深刻です。

こんなに少ない日本の人員体制



出典：OECD資料から厚生労働省作成の資料

このままでは、地域医療は崩壊の危機に...

小児科や産科、外科、内科、救急などを受け入れる病院が減っています。

救急患者の受け入れがますます困難



療養病床の削減で、行き場のない高齢者も...



住み慣れたまちで、子どもが産めない



自治体決議や国会議員の賛同も広がる中で、第166回通常国会で、私たちの請願が採択されました。これにもとづき、

医師・看護師などの確保のための法律、実効ある措置が求められています。

医師・看護師などを 大幅に増員するための 法改正を求める 国会請願署名



衆議院議長殿・参議院議長殿

年 月 日

請願趣旨

第166回通常国会において、「1、医師・看護師など医療従事者を大幅に増員すること。2、看護職員の配置基準を、夜間は患者10人に対して1人以上、日勤時は患者4人に対して1人以上とするなど、抜本的に改善すること。3、夜勤日数を月8日以内に規制するなど、『看護職員確保法』等を改正すること。」の請願が全会一致で採択されました。

医師不足によって地域の病院が閉鎖された、看護師不足のため病棟が閉鎖された等々、深刻な事態が進行しています。また、入院ベッドが減らされて病院から追い出された、医療費が高すぎて払えない等、必要な医療が受けられない事態も発生しています。さらに、現場では、過密労働や低賃金のために退職する医師、看護師、介護福祉士などが後をたちません。こうした危機的な状況を打開することは、広範な国民の切実な声となっています。

医師・看護師などを大幅に増員するために必要な法律を制定・改正し、国民が安心して医療が受けられるように、国の財源を医療・社会保障に使うよう求めます。

請願項目

- **看護師などを大幅に増員するため、夜勤を月8日以内に規制するなど「看護職員確保法」を改正してください。**
- **医師の養成を大幅に増やし、勤務条件の改善をはかるため、医師確保に向けて必要な法律を制定してください。**
- **医療・社会保障予算を大幅に引き上げて国民が安心して医療が受けられるようにしてください。**

氏 名	住 所

※この署名は国会に提出する以外には使用しません。